

# 三たたらワークショップ

鳥取県中・西部はかつて「伯耆国」と呼ばれ、刀剣をはじめとする鉄製品の産地として有名でした。「伯耆国」の国庁があった倉吉では、砂鉄と炭を加えながら化学反応により鋼のかたまりをつくる「たたら製鉄」が盛んに行われていました。この地で「たたら文化」を気軽に楽しんでもらうため、①砂鉄あつめ ②たたら操業 ③鍛冶体験(ナイフ作り) ④卸鉄(おろしがね)&鍛錬のワークショップを開催します。



## 第1回 ワークショップ

### 砂鉄集め+砂鉄選鉱体験

8/23日 9:00~12:00 場所 北条オートキャンプ場 申込期限 8/16(日)  
料金 1,000円 定員 20人

倉吉のたたら製鉄では、由良の浜(現:北栄町)の砂鉄を材料にした地区もあったと言われています。由良海岸に近い北条の海岸周辺で砂鉄集め、砂鉄と砂を分離する選鉱作業などを行います。



## 第2回 ワークショップ

### たたら操業&釘でナイフ作り体験

小学校  
5年生  
以上対象

9/27日 10:00~17:00 場所 八島農具興業 工場内(倉吉市広栄町) 申込期限 9/18(金)  
料金 4,000円 定員 10人

第1回で集めた砂鉄を用いて鋼を作る「たたら操業」を行い、炉から鋼を取り出す「けらし」作業までを体験します。炉が冷えるまでの時間を使って釘を使ったペーパーナイフ作りや包丁研ぎ体験(無料)も行います。



## 第3回 ワークショップ

### 鍛冶(マイナイフ)作り体験

小学校  
5年生  
以上対象

10/18日 9:00~13:00 場所 八島農具興業 工場内(倉吉市広栄町) 申込期限 10/4(日)  
料金 6,000円 定員 10人

国宝「童子切安綱」を作った刀匠「伯耆安綱」にゆかりがあると言われる地で、今も鍛冶の伝統を守り続ける「八島農具興業」監修により、ナイフ作りを行います。



## 第4回 ワークショップ

### 卸鉄(おろしがね)&鍛錬体験

小学校  
5年生  
以上対象

令和3年 1/24日 9:00~17:00 場所 八島農具興業 工場内(倉吉市広栄町) 申込期限 1/15(金)  
料金 4,000円 定員 10人

第2回のたたら操業で作った鋼を延べ板状にする作業を体験します。たたら操業で作った細かな鋼を卸鉄(おろしがね)技法により鍛錬に使用する鋼を作る体験も行います。



主催:とっとり中部ものづくり道場

お申込  
お問合せ先

(一社)倉吉観光MICE協会

〒682-0821 鳥取県倉吉市魚町2568-1(赤瓦十号館内)  
TEL: 0858-24-5371 FAX: 0858-24-5015  
mail: info@kurayoshi-kankou.jp

# 令和2年度 ミニたたらワークショップ 参加申込書

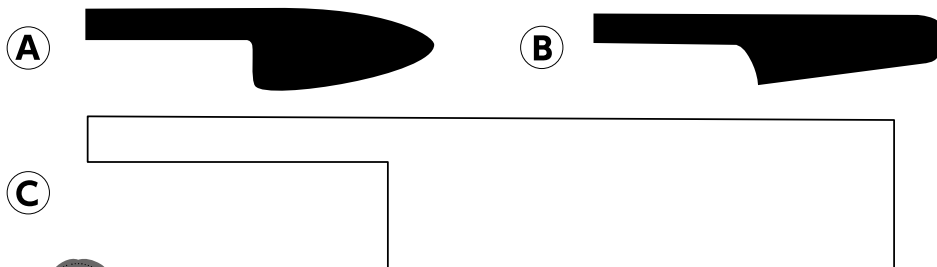
お申込先 FAX:0858-24-5015  
E-mail:info@kurayoshi-kankou.jp

代表者氏名	フリガナ		参加者氏名		フリガナ		
	生年月日:西暦 年 月 日( 歳)		生年月日:西暦 年 月 日( 歳)		生年月日:西暦 年 月 日( 歳)		
住所	(〒 - )		電話番号		当日連絡のつく連絡先 - -		
第1回	参加・不参加	第2回	参加・不参加	第3回	参加・不参加 【利き手】 右・左 【ナイフ形状】 A・B・C	第4回	参加・不参加

## 第3回ワークショップ ナイフ形状

第3回のワークショップで作るナイフの形状を下のA～Cの中から選びください。  
なお、Cをお選びの方は、下のC欄にご希望の形状を直接ご記入ください。

※形状によってはナイフにすることができない場合があります。その時はこちらで形状を修正しますので、予めご了承ください。



## たたら製鉄と伯耆国くらよし ~日本最古の刀匠 安綱~



当時、全国の8割近いシェアを誇った倉吉稻扱千歯

現在の日本刀の形が完成した平安時代中期に数々の名刀を残した「伯耆安綱」は伯耆国出身とされ、個人名が特定できる最も古い刀匠の一人です。安綱の代表作で国宝にも指定されている「童子切安綱」は天下五剣にも数えられる名刀として知られ、安綱の子 真守(伯耆大原真守)は平家伝来の宝刀「抜丸」の作者と言われ、その一族の屋敷跡と伝えられる場所が倉吉市大原に残っています。この大原地区では、室町時代末期から廣賀(ひろよし・ひろが)と呼ばれる刀鍛冶集団が活躍していましたが、江戸時代に入り刀剣の需要が徐々に廃れ、また武士が城下町に集められたり、物流が良くなったことから、刀鍛冶は都市への移住や転業を余儀なくされ、倉吉での刀鍛冶の需要は大きく減少しました。その後は万人向けの打ち刃物や農具等の製作が中心となり、幕末から大正にかけて「稻扱千歯」をもって全国に行商に出る者が多くなり、「(伯耆)倉吉稻扱千歯」が全国的にも知られた倉吉の特産農具として知られることになりました。

## 倉吉市 観光案内

### 白壁土蔵群

(倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区)

倉吉の町は室町時代に打吹城の城下町として形成され、江戸時代には陣屋を中心に武家屋敷が建てられました。また、津山往来、八橋往来、備中往来といった交通網の結節点にあたります。白壁土蔵群の町並みの景観は、本町通りに展開する商家の主屋を主体とする景観と、東西に流れる玉川沿いの景観に大きく分かれ、ともに建物の屋根が石州瓦で葺かれており美しい景観が残ります。エリア内は商家や蔵を改装したカフェや土産物店、体験施設等が建ち並び、のんびりとそぞろ歩くまち歩きが人気です。

### 関金温泉

世界有数のラドン温泉であり、日本の名湯百選や国民保養温泉地にも指定されています。奈良時代・養老年間(717~724)に開湯し、1300年もの歴史を有する関金温泉は、別名「白金(しろがね)の湯」とも呼ばれ、泉質の良さから住民や湯治客などにも人気です。日帰り温泉施設もあり、東大山山麓の豊かな自然の中、様々な楽しみ方ができる温泉地です。

詳しい観光情報はこちら

(一社)倉吉観光MICE協会HP  
「倉吉観光情報」



<https://www.kurayoshi-kankou.jp>